

- 問1 室町時代に質屋を営み、酒屋とともに金融業として富を蓄えたのは何？
- 問2 勘合貿易において、正規の貿易船を証明するために、明側と日本側で半分ずつ持った札のことを何という？
- 問3 1467年、将軍の跡継ぎ問題と守護大名同士の対立がきっかけとなって起こった大きな戦乱を何という？
- 問4 現在の石川県である加賀国で、浄土真宗の門徒らが守護大名を倒した一揆が起こったのは何年ですか？
- 問5 室町時代、3代将軍足利義満が京都の北山に建てた、北山文化を代表する建築物を何という？
- 問6 室町時代に、幕府から地方の軍事・行政権を与えられ、領地を支配した地方官を何という？
- 問7 明に渡って絵画を学び、独自の力強い水墨画を大成させた画僧は誰？
- 問8 床の間や付け書院などの特徴を持つ、後の日本建築の基礎となった様式を何という？
- 問9 室町幕府の体制において、将軍の補佐役を務め、地方統治を担う重要な機関でもあった役職を何という？
- 問10 足利尊氏が鎌倉幕府を倒したあとに離反し、吉野に逃れて対立した天皇は誰？
- 問11 建武の新政の混乱を批判し、1334年に京都の二条河原に立てられた落書で、その当時の混乱を招いた天皇は誰ですか？
- 問12 世阿弥とともに能楽を大成させた人物であり、世阿弥の父でもあるのは誰？
- 問13 応仁の乱の後、実力のある者が上の立場の者を倒して勢力を広げた、戦国時代の風潮を何という？
- 問14 世阿弥が追求した、能の基礎となる芸術的な美しさを何という？
- 問15 建武の新政が行われていた期間の混乱ぶりを風刺し、当時の社会状況を伝えるために作られた落書きを何という？
- 問16 自治都市で、自分たちで政治を行い商業活動を展開した力のある人々を何という？
- 問17 観阿弥とともに能を大成させ、能楽の基礎を築いた人物は誰？
- 問18 尚氏が沖縄本島を統一し、琉球王国を建てた時期はいつ頃？
- 問19 東求堂同仁斎に見られる、畳や床の間、棚などを備えた日本の住宅建築の様式を何という？
- 問20 勘合貿易が始まるきっかけにもなった、当時朝鮮半島や中国沿岸を荒らしていた海賊集団のことを何という？
- 問21 日明貿易などで繁栄した自治都市「堺」は、現在の何という都道府県に位置している？